

平成25年度 山形県工業会 通常総会開催



5月9日(木)山形市「ホテルメトロポリタン山形」において、山形県工業会(安房毅会長:会員136社)通常総会が開催され、会員等60余名が出席した。

来賓を代表して吉村美栄子知事が祝辞を述べた後、審議に入り、全議案が原案どおり可決決定された。

今年度の事業計画では、企業間等連携推進事業として、国・県等の重点施策の普及など「新連携支援制度」「地域資源活用プログラム」「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」等の施策を会員に周知し、新事業活動の推進を支援する。また、東北経済産業局との懇談会や県との連携を深めるため、商工関係各課長と本会役員による県の施策や産業界の状況などについて情報交換を行う。

さらに、人材確保事業では、将来の有能な人材を確保するためのセミナーや説明会を開催し、山形大学工学部と協力しながら学生のサポートを行っていく。

引き続き講演会が行われ、「地域に根ざし、世界を目指すエレクトロニクスの未来」と題して、有機エレクトロニクス研究センター センター長 大場 好弘 氏の講演が行われた。

山形県商店街振興組合連合会通常総会開催



大泉理事長

6月14日(金)山形市「ホテルキャッスル」において山形県商店街振興組合連合会(大泉好理事長:会員18組合)通常総会が開催され、組合員のほか県・市などから関係者30名余りが出席した。

長谷川 潔美 県商工労働観光部長が来賓を代表して祝辞を述べた後、平成24年度事業報告・収支決算の承認、平成25年度事業計画・収支予算の決定、賦課金、役員報酬、借入金の最高限度決定を含む議案について審議に入り、慎重審議の結果、全議案が原案どおり可決決定された。今年度も県の補助事業として、組合に対する指導事業、商店街近代化講習会開催、商店街青年部活性化推進事業、中小商業活性化支援事業を行うほか、全国商店街振興組合連合会の事業である「地域商店街活性化事業」の実施を支援する。

引き続き、講演会では、「労働契約法の改正 具体的対応について」と題して協同組合労研センター専務理事の高橋久義氏が、改正労働契約法のポイントと考え方、雇用契約書の作成等について説明した。

